

黒之瀬戸大橋と蔵之元、諸浦のフェリー発着所付近に口蹄疫予防のための石灰を散布



絶対阻止しよう 口蹄疫の侵入を

宮崎県で相次いで口蹄疫の発生が確認され、さらに発生地域が南下していることから、鹿児島県への侵入リスクが非常に高まっています。本町の畜産を守るためには、絶対に口蹄疫を県内に侵入させるはなりません。

現在、えびの地区での発生に伴う移動制限は解除されたものの、県が設置した消毒ポイントで、畜産関係車両をはじめ、一般車両も消毒を実施しています。県境地域を中心とした市町村が自主的に設置している消毒ポイントでも、一般車両に対する消毒を実施し、侵入防止に万全を期しています。

なお、口蹄疫に感染した肉や牛乳が流通することはありません。また、人には感染しないため、感染した肉や牛乳を食べたり、飲んだりしても健康には影響ありません。

本町への口蹄疫の侵入を阻止するため、町民の皆さんのご協力をお願いします。

◎問い合わせ先

役場農林課畜産係

☎ (86) 1111

内線 2144

原因 口蹄疫ウイルス
感染動物 牛、豚、めん羊、山羊などの偶蹄類ぐうているい
伝搬 鼻汁・唾液の飛沫、水疱（水ぶくれ）の破裂によるウイルスの飛散・接触、空気感染
主な症状 発熱、元気消失、食欲不振、発咳、多量のよだれ、舌などの口腔内、蹄ひづめの付け根や乳頭などに水疱を形成

国内での発生 明治 41 年 東京、神奈川、兵庫、新潟 522 頭
 平成 12 年 宮崎（3～4月・3戸）29 頭
 北海道（5月：1戸）705 頭

海外での発生 北米とオセアニア以外の世界中で発生が認められる